

平成 30 年 10 月 5 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク  
運営委員会議事録(10 月期)**

**【出席者】**(敬称略)

濱田、石丸、一政、岡部、片桐、木村、高木、葉木、若笠、

事務局：天寺、濱口

沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

1. 濱田代表理事 挨拶
2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告  
巻末添付\_「事業報告と今後の予定」のとおり。
3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク報告  
巻末添付\_「運営委員会議事」を参照
  - 10/2 付で募集した寄付金は 630,000 円が集まった(114 件)。総額の半分は「災害対応積立金」へ移す。残額として被災地支援活動に充てる金額、およびイベントに充てる金額として下記の通り理事会で承認された。
    - A. 西日本豪雨災害への派遣にかかった費用 62,260 円 (9/11 法制学会から請求)
    - B. 西日本豪雨災害への土嚢袋を送った費用 65,619 円 (購入費と送料)
    - C. 災害トイレシンポジウム開催運営費予算 15 万円 (現時点で 115,695 円支出)
  - 10/15,16 開催「災害時の住環境・生活環境/アレルギー EXPO2018」詳細  
会場：新宿区の京王プラザホテル 4 階花、ホワイエ、会議室 (けやき、かえで)  
出展料：3 万円  
展示物：ポスター (当初イラストのタペストリー展示の予定から変更)  
※初日 10/15 に運営委員、事務局を中心に 10 名が会場全体の設営準備を行う。
  - 9/19 実施「第 8 回 SL 防災談話室@mansion」  
巻末資料\_「第 8 回 SL 防災談話室@mansion」参照
  - 「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム企画について進捗報告  
11/20 13:30~16:30 カナリアホール(北とぴあ 14 階)にて開催。  
申込状況 (10/1 申込開始、10/4・16 時現在)  
SL28 名、一般 5 名、行政 6 名、協賛企業 1 名 計 40 名 (運営スタッフ講演者除く)  
巻末添付\_「H30/11/20 災害時トイレシンポジウム進捗状況」\_参照
  - SL 企画セミナー第 4 弾は「初心者のための DIG 講習」を 12/3,10,11 に実施。来年 1 月 9,16,21,23 日の 4 日間で学校教員約 300 名参加予定の「5 年経験者 DIG 研修」の受託事業に合わせて SL 内でインストラクター及びファシリテーターを養成する。
  - スフィア基準「被災者支援のための国際基準を学ぶ研修会」は日程を含め改めて検討とする。3/23 午後、社員総会内にて導入編として 90 分の講義を実施予定。

#### 4. 各地域の活動報告

##### 千葉県ネット（岡部）

- 10/21 「千葉県 SL ネット秋季研修」 野田興風会館にて実施

##### 船橋ネット（片桐）

- 9/28～30 SL 船橋講座 学生 5 名を含む 10 名修了
- 11/4 船橋健康まつり 千葉商科大生約 50 名が参加予定

##### 市原ネット（片桐）

- 10/10 県生涯大学房総学園講座実施。3・3・3 をメインとした防災講座。

##### 埼玉ネット（若笠）

- 9/30 朝霞防災フェア 台風の為中止。次回は 5 年後
- 10/6 日高市出展支援 転倒防止
- 10/14 飯能市避難所体験支援 避難所に入れないという設定での訓練

##### 横浜ネット（一政）

- 9/11 SL 横浜役員会 12 月災害救援ボランティア講座実施予定
- 10/12,13 柳島合宿訓練（茅ヶ崎市）
- 10/22 DIG 講習（茅ヶ崎高校 8 クラス）

##### 川崎ネット（天寺）

- 9/16 日本赤十字 DIG 研修 講師担当（佐藤）
- 9/20 かわさき市民活動センターにて防災ボランティア団体として登録完了。施設利用承認書と ID が交付。
- 川崎市社会福祉協議にてボランティア団体として登録完了。施設利用が可能となった。

##### 湘南ネット（葉木）

- 11/17 パッククッキング 実施予定

##### 西湘ネット（石丸）

- 9/11 小田原市民交流センター「高齢者の為の災害対策」講師 田中 SL
- 11/8 防災減災サロン「見直そう！我が家の安全対策」講師 深谷美登里

##### ざまネット(濱田)

- 9/21～25 「被災地支援活動」 西日本豪雨で被災した船穂・真備町にて鯛焼きを振舞った。(濱田、宮本、稲穂)
- 9/17 「座間市社協福祉祭」 参加
- 9/22,23 「親子で防災キャンプ」 あいかわふれあいの村
- 10/4 「詐欺防止活動」 神奈川県くらし安全防災局主催
- 10/31 シェイクアウト・キックオフ講演会 開催予定
- 11/11 「マイ発電所プロジェクト」ワークショップ実施予定 座間市総合福祉会館
- 2019/1/23 座間市いっせい防災行動訓練（シェイクアウト）

#### 【次回の開催日】

2018 年 11 月 6 日（火）13 時 30 分～運営委員会

開催予定場所：かがやきプラザ

## 2018年8,9月の事業報告と今後の予定 (9.7→10.5)

(10月5日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに (話題)

(1) 「めったに起きない災害がたびたび起きる時代へ」

①連続災害の時代と人々の不安

台風 21 号 (9/4)、北海道胆振東部地震 (9/6)、台風 24 号 (9/30)

インドネシア地震・津波 (9/28) 注：インド洋大津波 2004/12/26

②災害対策用品が通販に殺到で品切れに

③若い層の関心の高まり

(2) 「シンク・グローバル アクト・ローカル」

普及協会特別セミナー取り組み 国連 SDGs、仙台宣言

地域での取り組み(講座、講習、訓練)

(3)新たな変化、状況をつかみ、何が求められているかを見い出す

①シェイクアウト訓練の広がり背景

東海地震の警戒宣言中止下での訓練

シェイクアウト訓練がスターター訓練として定着へ

②熱波災害 →熱中症対策、オリンピックと絡めて

10月以後、死者数判明で本格的な対策に、安全衛生の発展へ

③水害教育 →情報と避難

水害における行政の情報発信と避難のあり方の見直し、検討へ

※事例：JR 東日本の計画運休

④大規模停電

停電被害への認識を改める必要あり。

※取組 マイ発電プロジェクトの意義

(4)JBU パワーバンクの発展

※取組 民間の訓練を受けた組織的な災害ボランティアチーム

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

9/19 朝鮮半島、南北会談

9/30 沖縄県知事選挙 「新基地反対」の玉城知事が当選

10/2 安倍第4次改造内閣 防災相 山本順三(参・愛媛)

1-2 災害,大事故分野

国内(大規模) 北海道胆振東部地震 9/6 死者 41人 全道停電

ア 地震(気象庁発表で震度 5 強以上, 首都圏は震度 4 以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
9/5 05:11	茨城県沖	5.5	60	4	日立市、高萩市
9/6 03:07	胆振地方中東部	6.7	37	7	厚真町
9/10 23:58	千葉県南東沖	4.7	35	4	鴨川市
9/18 17:11	埼玉県南部	4.3	77	4	加須市
10/4 00:15	千葉県東方沖	4.6	30	4	銚子市他

※深夜の緊急地震速報

イ 風水害（土砂含む）（内閣府掲載を主に対象）

9/4 平成 30 年台風 21 号 徳島県上陸 9/4 死者 13 人

10/1 平成 30 年台風 24 号 和歌山県上陸 9/30 死者 1 人、不明 1 人

※大規模停電：21 号（主に大阪、和歌山）24 号（静岡）

ウ 猛暑災害

観測史上最大の猛暑？推定死者は 2 千人以上で過去最大？

エ 火山等

海外（大規模）インドネシア地震 様々な教訓あり

ア 地震(USGC 発表、日付 UTC、Mw7 以上又は報道等で犠牲者多数)

日 時	現地	発生地	M	深さ	死者
9/06	0350	フィジー諸島	7.9	670 km	なし
9/28	1802	インドネシア・パル	7.5	10 km	1407 人以上

イ 風水害

ウ 火山等

オ 事故

1-3 防災行政等の動き

ア 政府〔内閣府〕 11/1 緊急地震速報シェイクアウト訓練

〔消防庁〕〔文部省〕〔気象庁〕 自治体

イ 東日本大震災

・ 8/31 復興庁 避難・転居者数 5 万 6842 人 前月比-1,075 人 9/11 現在

ウ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き（全社協 被災地支援・災害ボランティア情報）

ア 平成 30 年 7 月豪雨 JBU パワーバンクによる継続支援 倉敷と呉市

イ 台風 21 号(大阪)

ウ 北海道胆振東部地震

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK] イ 書籍

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 社会貢献活動：災害ボランティア

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 10,269 人 公認講座 2,500 人弱\* 計 12,769 人

イ 本部主催の S L 養成事業

・ [終了] 9 月 船橋市講座 9-28-29-30

[予定] 11 月 我孫子市講座 11-17-23-24

ウ 大学等受託の S L 養成事業 10 月 目白大学岩槻講座

エ JBU パワーバンク養成事業 11 月 基礎講座実施

B、防災／減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

・ [予定] 12/5 内閣府 津波防災の日 川崎

ウ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク／災害ボランティア活動報告

ア[事務]寄付金状況

イ 行事等

- ・[予定] 11/20 S L企画「災害時のトイレ」シンポ

## 2-2 総合防災事業

### A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2018 国内累計約 万人

イ 11/1 緊急地震速報シェイクアウト

### B、防災教育推進事業

ア チャレンジプラン・内閣府共催事業

- ・[行事]10/27-28 防災教育交流フォーラム

イ 普及協会事業

- ・[行事]10/14 防災こくたいセッション

10：00 国際展示場 チラシ

- ・[行事]11/29 特別セミナー 仙台防災枠組+企業防災

東大山上会館 チラシ

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

### C、防災研究事業

- ・被災者生活再建支援研究会

北海道安平町 濱口派遣

3、広報等、広報 S Lレター 8月下旬発行

10月下旬予定

以上

## 第8回 S L 防災談話室@manshion



小田部 橋本 片岡 本川 藤岡 石丸 山本 木村  
平田 岡部 三沢 . . . . (森井)

### 1. 第8回防災談話室

[テーマ] 1. 災害時のトイレ対策について・・資料別添

- ① 災害時のトイレ事情と対策 . . . . 岡部 S L
- ② 同 トイレの排水 . . . . . 橋本 S L
- ③ 同 トイレの使用 . . . . . 平田 S L

\*マンション (Ma.) の設備の復旧は長期になる懸念。

- ・Ma. は潰れないが、水・食用・トイレ等の調達・使用は困難
- ・Ma. では避難所には行かない。在宅避難
- ・Ma. が指定避難所になっていなければ、食べ物等の支援が来ない。
- ・Ma. トイレ等排水全般が使えないことの確認と解除は誰がどのように？
- ・Ma. では市販品の携帯トイレを常時トイレに1セットを置いておく。(啓蒙)

\*どうする災害時トイレ

- ・熊本・・5分歩いてトイレに行った。
- ・富士山・・紙は棄てないでBOXに入れておく
- ・避難所トイレ・・携帯トイレを持って入る。終わったらBOXに入れる。
- ・実際に自宅では、買い物ビニール袋に入れて自宅で保管する。
- ・何れの場合も、BOX保管した後に行政がすぐ回収に来ないことが課題
- ・マンホールトイレも最後まで污水管本管まで届かない懸念。設置場所の懸念。
- ・幾つかの知恵をだしても、最終処理の段階で行政の壁にぶつかった。
- ・東日本や熊本その他の災害現場での対応実例の収集も欲しい所で、今の所机上の論議に終わっている感も拭えない。

[テーマ] 2. 大規模災害時口腔ケアについて・・・三沢 S L (資料別添)

- ・大規模災害時には、相当の期間、電気、水道、ガス、電話などのライフラインが止まること。避難所ではストレスの他に義歯の紛失、食料不足、慣れない食事、急性疼痛、体力の低下が予想される。口腔の不潔は万病のもとになる。避難所に入る時には口腔ケアセット(歯ブラシ、シュガーレスガム、マウスウワッシュ等の入ったビニール袋)を準備する。

## 2. 次回以降の案内

### (1) 次回・第9回談話室

日時： 11月21日(水) 18:00～ 千代田区かがやきプラザ第3研修室  
千代田区九段南1-6-10 03-6265-6486 (現・千代田区役所の向い)

テーマ：災害時「マンションと消防法」 担当・竹下 S L

### (2) 第10回目以降の開催日

- ・第10回談話室は 1月16日(第3水曜日)、
- 第11回談話室は 3月13日(第2水曜日)、以後は奇数月第2水曜日予定
- ・その後のテーマ・・・以降の発表者を募集します。

1月16日(水)： 発表者募集中

3月13日(水)： 発表者募集中

## 3. 今後のテーマとリポーター(案)

- ①発災直後にとる行動とは・・・・・・・・・・・・・・・・
- ②家具固定と対応工夫・・・・・・・・・・・・・・・・
- ③E Vで地震にあったら・・・・・・・・・・・・・・・・
- ④マンションは原則在宅避難、支援物資はどうなる？
- ⑤近隣住人が自分のマンションに流入したら・・・
- ⑥要介護者名簿の取扱いと個人情報保護法・・・・・・・・
- ⑦フロア毎の連絡会の運営状況・・・・・・・・
- ⑧備蓄品・・・・・・・・
- ⑨超高層マンションでの災害対応方法・・・・・・・・
- ⑩防災マニュアル作成の工夫・・・・・・・・
- ⑪地震保険について・・・・・・・・
- ⑫施錠住居への災害時立入り対応・・・・・・・・
- ⑬マンション内のD I G・・・・・・・・
- ⑭マンション周辺・通学路のD I G・・・・・・・・
- ⑮防災に関するマンション管理組合の役割とは・・・・・・・・
- ⑯マンションの罹災証明書発行はどうなる・・・・・・・・
- ⑰災害対策基本法の概要・・・・・・・・
- ⑱災害時受援体制に関するガイドラインの概要・・・・・・・・
- ⑲被災者生活再建支援法・・・・・・・・
- ⑳災害救助法・・・・・・・・
- ㉑被災者弔慰金の支給に等に関する法律・・・・・・・・

## H30/11/20 災害時トイレシンポジウム 進捗状況

葉木

### <現状>

1. リレートーク原稿（橋本、平山、松川）入手済
2. 谷講師、浅野講師の原稿も入手済
3. 参加者用配布物（エクセルシア、(株)総合サービス、徳島県家庭用災害時トイレリーフレット）入手済
4. アンケート用紙作成済
5. 参加申込状況  
10/4 16時現在 40名（藤沢市も3名参加予定）

### <今後> 以下の内容を、10/9(火)午後、本部で、関係者打合せる予定

1. リレートークの進め方検討
2. 講師資料等の作成  
資料は、2ページ又は、4ページ枚のモノクロ両面印刷とする  
10月中に、印刷、製本、配布物の袋詰めを含め、全て完了させる
3. 想定質問の作成
4. 会場との最終打合せ日程の明確化
5. 個人別役割分担
6. 申込状況の随時ウォッチング  
申込みが芳しくないときは、再度運営委員経由で動員をお願いする
7. 未作業の整理、分担
8. その他



公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

10月5日運営委員会(13:30~16:00) 議事

1. 濱田代表挨拶
2. 災害救援ボランティア推進委員会防災事業報告 沢野委員長
3. 報告・議案など

3.1. 報告事項

① 寄付金状況

10/2 時点で総額 630,000 円 (計 114 件)

総額の半分は「災害対応積立金」に移し、残額のうち、被災地支援活動に充てる金額、およびイベントに充てる金額は下記の通り理事会承認された。

- A. 西日本豪雨災害への派遣にかかった費用 62,260 円 (9/11 法制学会から請求)
- B. 西日本豪雨災害へ土嚢袋を送った費用 65,619 円 (購入費と送料)
- C. 災害時トイレシンポジウム開催運営費予算 15 万円 (現時点で 115,695 円支出)

※添付資料. 収支一覧 9 月 19 日作成

② 災害時の住環境・生活環境/アレルギーEXPO2018 の出展について

期間：10 月 15 日 (月) 16 日 (火) 会場：京王プラザホテル

出展料：3 万円

展示物：防災談話室メンバーの平田 SL、義元 SL、三澤 SL、木村・石丸運営委員とでパネルの作成→ポスターへ変更、簡易レシピ冊子の作成を進めている。

\*10/15 午前中の EXPO 主催側の設営手伝いの募集。

3.2. 2018 年事業内容の確認と報告

① SL 防災談話室第 8 回報告 ※添付資料

9/19 災害時のトイレ事情とその対策 富士見区民館 18:00~

3.3. 提案事項

① 「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム企画について

➤ 添付資料. 「H30/11/20 災害時トイレシンポジウム進捗状況」

実行委員：葉木、岡部、佐藤各 SL から経過報告

申込状況 10/4・16 時現在

SL28 名、一般 5 名、行政 6 名、協賛企業 1 名 計 40 名 (運営スタッフ講演者除く)

② SL 企画セミナー第 4 弾「初心者のための DIG 講習 (第 2 回)」

➤ 添付資料. SL 講習企画書「初心者のための DIG 講習 (第 2 回)」

担当：一政 SL から報告

③ スフィア研修について

1月28日(月)29日(火)の2日間。

会場はかがやきプラザを予定(2か月前予約可)

受講料30万に加えて、講師料5万×人数分の費用がかかる

cf.) 30名の時、講師3人として支払い総額45万。受講料は会場費なしで@15,000円。

24名の時でも@14,200円。

3.4. 各地域からの報告

4. 次回運営委員会

2018年11月6日(火) 13:30~16:00

以上